

第23回 エックス線被ばく事故検討WG 議事概要

1. 開催日時：2023年1月18日（水）午前9時00分～10時00分
2. 開催場所：Zoom を用いたオンライン開催
3. 出席者：（順不同、敬称略）
飯本武志、古渡意彦、山口一郎、高橋賢臣、福土政広、中村美和、榎本 敦、橋本周、秋吉優史、小嶋光明、川島恒憲、五十嵐 悠
4. 紹介資料
資料1 第22回エックス線被ばく事故検討WG 議事概要（案）
資料2 WG 議事次第
5. 議事
 - (1) 今後のまとめ方針の確認
山口幹事より、第3分科会における検討課題、今後のスケジュールについて説明がなされた。
 - 第3分科会での検討内容を考慮し、第1及び第2分科会とは異なり、同分科会が所掌する部分の最終報告については保健物理誌への投稿の形式を取らない選択肢もあるとの方針で検討している。
 - 第1及び第2分科会で扱っている内容も含めた包括的な提言もあり得る。
 - 委員から以下の意見・質問があった。
 - 第3分科会の目次案からのコメントで、今後の検討に多くの時間が必要と思われる項目について質問があり、本WG 発足の契機となった事故に関する検討をどこまで具体的に進めるか等で委員間の意見がまとまっていない部分があるが事故への対応として分野を超えた課題であり、その整理の結果を提示したいとの回答があった。
 - (2) 第1及び第2分科会からの進捗報告
飯本委員長及び古渡副委員長より、各分科会における検討状況及び報告案のとりまとめの現状について紹介があった。本件に関し、各委員より特段の意見、コメント等はなかった。飯本委員長より各委員への現時点での原稿回付の依頼があった。
 - (3) 審議事項について
古渡副委員長より、本年11月に開催されるICRP2023での本WG活動報告に関し、以下の2点について審議依頼があり、審議の結果了承された。
 - ・WG 活動に関し、内容が発表に値するものとされたものについて、上記会合で発表してよい。
 - ・報告する場合の形式について、
 - 1) WG活動成果を報告する場合、発表者及びクレジットについては別途議論
 - 2) WG活動を通じて得られた個別の科学的知見については、研究を遂行した各委員より個別に発表上記のいずれについても了承された。1)の場合に、WG名で発表するケースも想定されるため、その場合の旅費や参加費等の確保について、学会側に相談することに

なった。

(4) WG委員の委嘱期間について

WG活動としては3月末で完了するよう調整を進め、令和5年度に開催される企画行事等(6月頃)までは最終成果公開に必要な活動を継続する。委嘱の期間としては従前の3月末までのままで対応することを基本とするが、所属組織での不具合等があれば、個別に事務局に相談し、期間延長などの対応することとなった。また、本年11月開催のICRP2023においてWGとしての活動報告を発表する場合、発表者には改めて学会より発表に関する委嘱を行うことも可能である旨の説明があった。

(5) その他

- 第22回WGの議事要旨を確認し、再度事務局で確認を行い、改めて委員へ周知することとなった。
- 第24回WGの開催は2月28日(火)9時から、遠隔会議で開催する。

以上